

淀川製鋼グループ 2025年3月期中間期決算説明資料

2024年11月8日

1 連結業績概要 (① 前年同期比)

(単位:億円(千万円未満切捨))

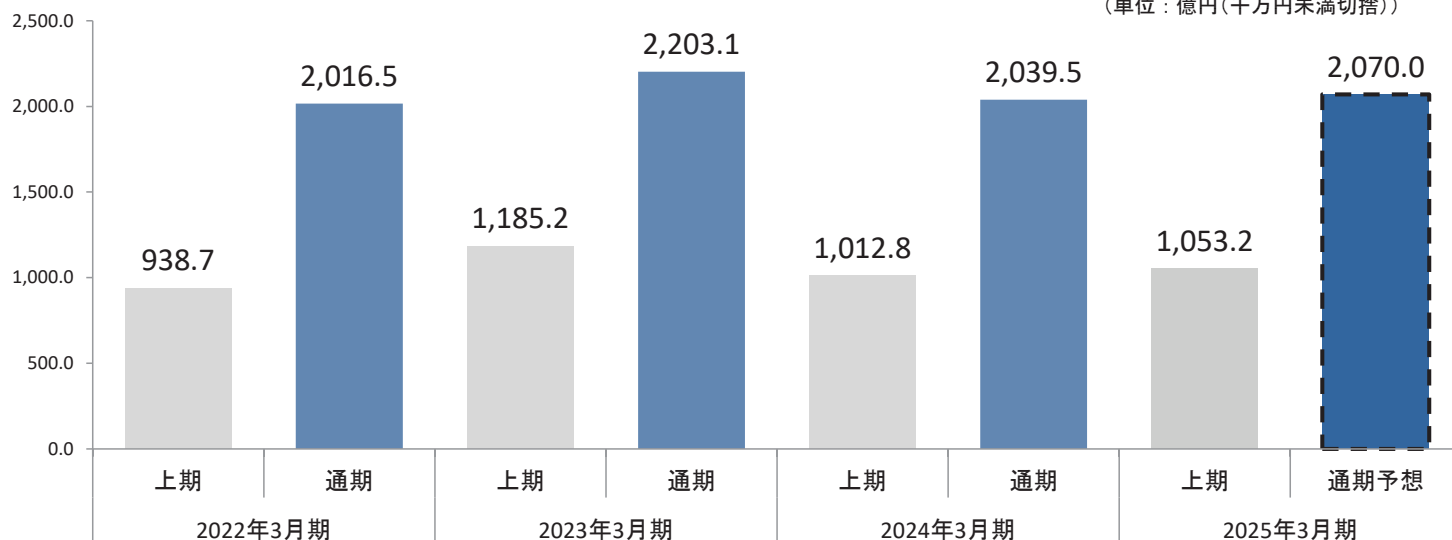
	当上期	前上期	増減	増減率	特記事項
売上高	1,053.2	1,012.8	40.3	4.0%	
(売上総利益)	174.2	158.1	16.0		
(販管費)	96.1	103.4	△7.3		
営業利益	78.1	54.7	23.4	42.8%	
(営業外収益)	14.9	23.5	△8.6		<営業外収益> 前期:投資有価証券売却益を9.6億計上
(営業外費用)	1.3	1.5	△0.2		
経常利益	91.7	76.7	14.9	19.5%	
(特別利益)	0.7	9.5	△8.7		<特別利益> 前期:固定資産売却益9.5億計上
(特別損失)	0.5	4.7	△4.1		
税引前利益	91.9	81.5	10.4	12.8%	
(法人税等)	25.0	23.9	1.1		
(非支配株主利益)	8.9	5.6	3.2		
親会社株主利益	57.9	51.8	6.0	11.7%	
(EPS(円/株))	200.40円	179.56円	20.84円		<包括利益> 当期:中間純利益 66.8億、その他有価証券 評価差額金 △10.0億、為替換算調整勘定 39.7億 ほか
包括利益	96.2	125.1	△28.9		

(単位: 億円(千万円未満切捨))

連結上期 (億円)	実績	予想 (2024年8月開示)	差異
売上高	1,053.2	1,060.0	△6.7
営業利益	78.1	74.0	4.1
経常利益	91.7	88.0	3.7
親会社株主利益	57.9	53.0	4.9

販売数量が予想よりも減少した一方、
品種構成の影響により利益は上振れ。

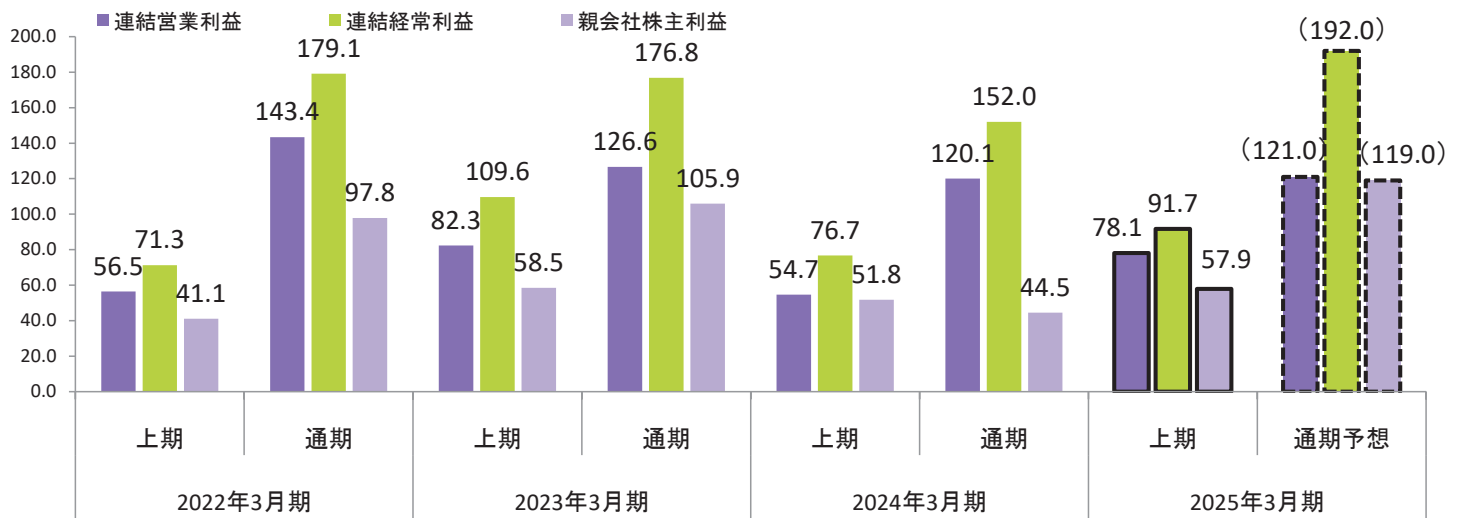
(単位: 億円(千万円未満切捨))



【増収 40.3億の主な内訳】

- 淀鋼 +11.5億 (652.6→664.1)
ひも付きの販売数量が減少するも、店売りの販売数量が増加し増収
- 台湾SYSCO社 +62.9億 (244.8→307.7)
市況は緩やかに下落しているものの、めっき製品を中心に販売数量が増加し増収
- 中国YSS社 △19.6億 (61.8→42.1)
長引く不動産市況の低迷などにより、物件の延期・中止が相次ぎ販売数量は減少
- タイPPT社 △4.6億 (27.2→22.6)
主力のエアコン向けの需要が微減となり、販売数量が減少

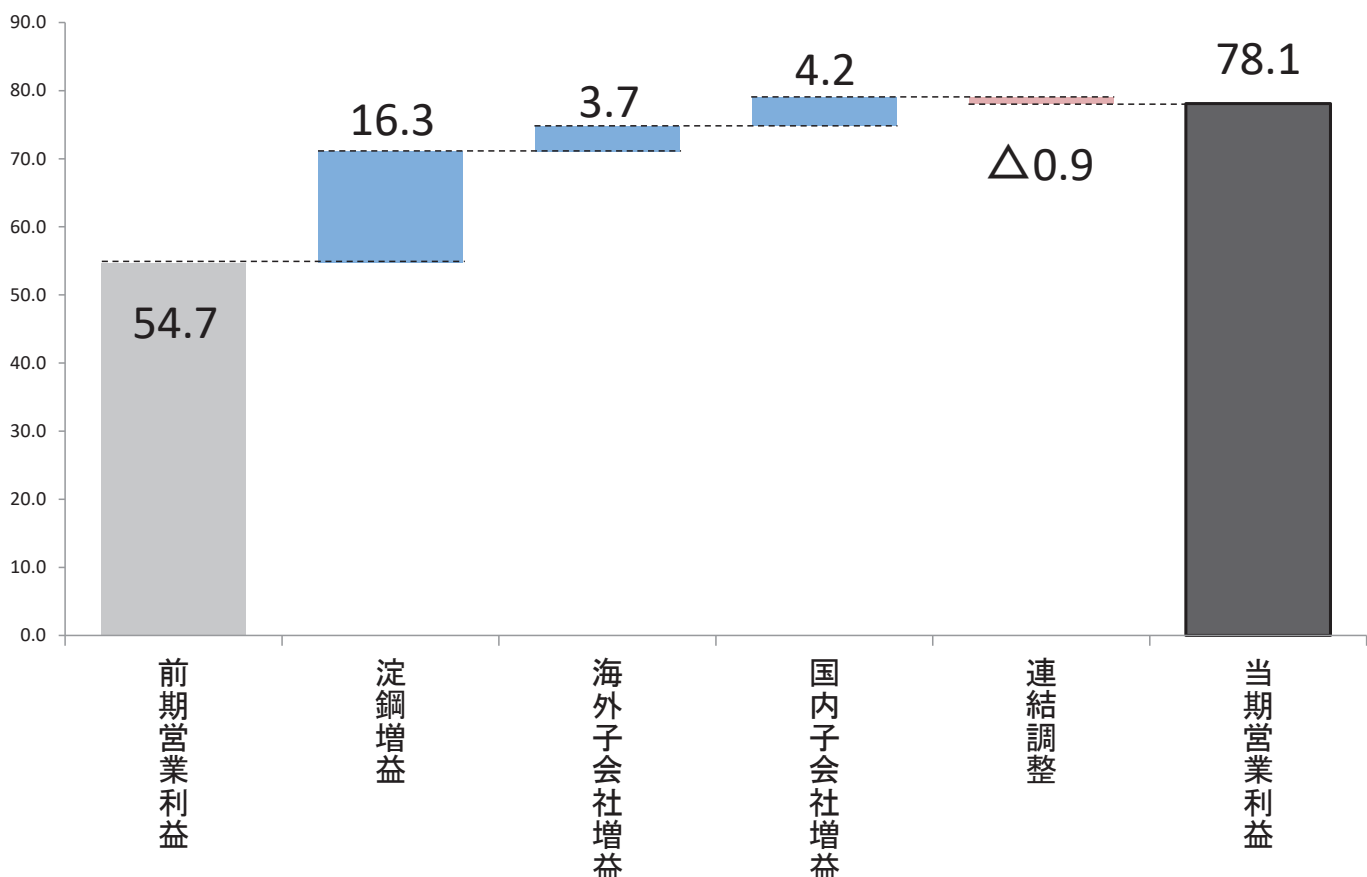
(単位：億円(千万円未満切捨))



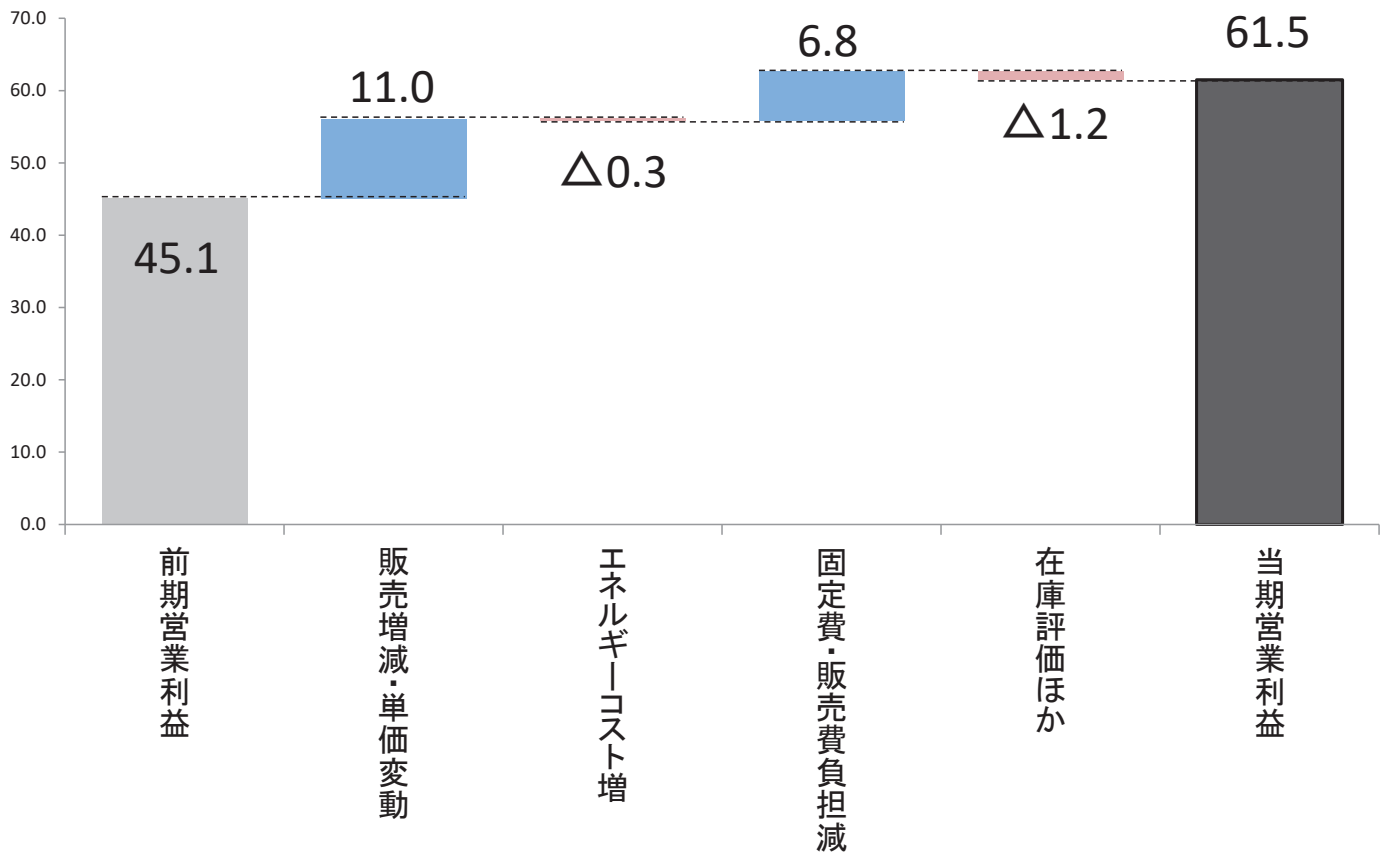
【営業利益 23.4億増益の主な内訳】

- 淀鋼 +16.3億 (45.1→61.5)
前期に製品補償引当金を特別損失で計上したことによりクレーム費用が減少。
また、鋼板事業における店売りの販売数量の増加により増益。
- SYSCO社 +4.1億 (11.3→15.4)
安価な海外材の流入により価格競争は激化するも、主にめっき製品の販売数量が好調に推移し増益
- YSS社 △0.2億 (△3.3→△3.5)
長期化する不動産不況に起因する受注競争、価格競争の激化の影響などにより、業績は悪化
- PPT社 △0.0億 (2.7→2.6)
鉄鋼需給ギャップにより市況価格は軟化するも、スプレッドの維持などに努め黒字を確保

(単位：億円(千万円未満切捨))



(単位：億円(千万円未満切捨))

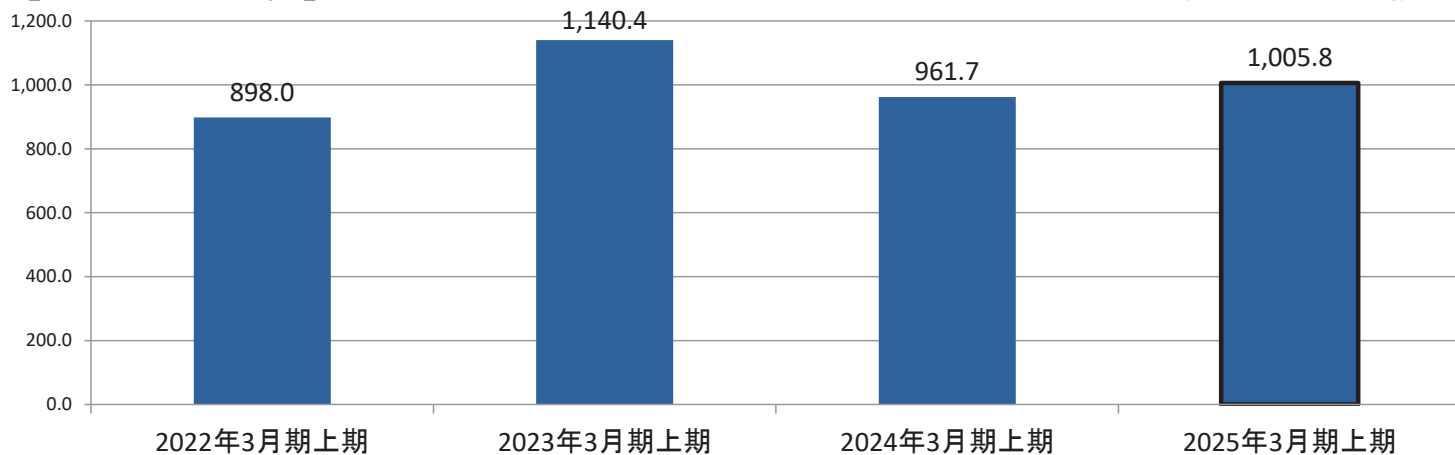


(単位：億円(千万円未満切捨))

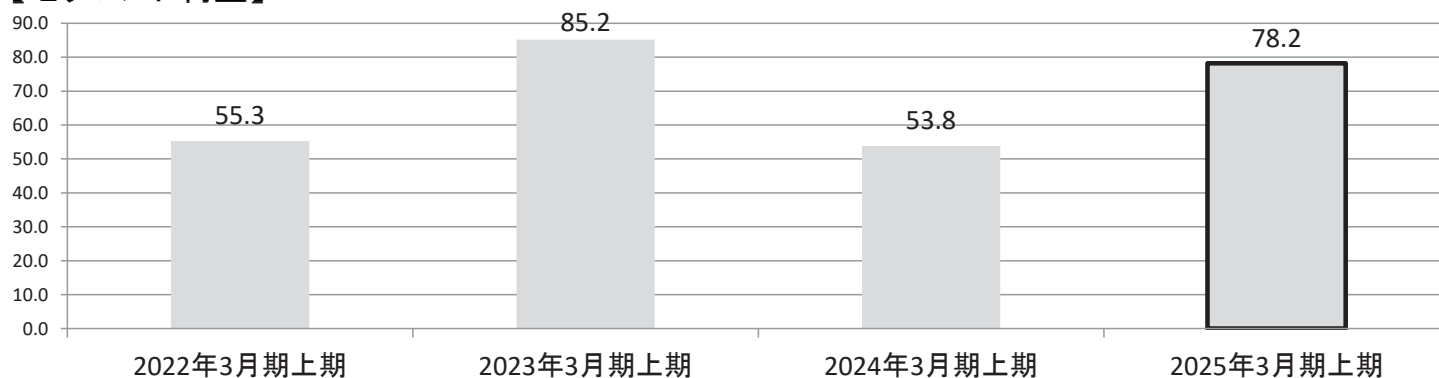
	売上高			セグメント利益		
	当上期	前上期	増減率	当上期	前上期	増減率
鋼板関連	1,005.8	961.7	4.6%	78.2	53.8	45.4%
ロール	13.4	17.1	△21.4%	0.0	0.7	△99.1%
グレーチング	16.5	17.1	△3.7%	0.7	0.8	△20.6%
不動産	6.5	6.2	5.5%	4.0	3.9	4.2%
報告セグメント計	1,042.4	1,002.3	4.0%	83.0	59.4	39.7%
その他	10.7	10.5	2.2%	3.2	1.8	71.8%
合計	1,053.2	1,012.8	4.0%	86.2	61.3	40.7%
調整額				△8.1	△6.5	
PL計上額	1,053.2	1,012.8	4.0%	78.1	54.7	42.8%

【セグメント売上高】

（単位：億円（千万円未満切捨））



【セグメント利益】



9 セグメント概況（鋼板関連事業②）

【鋼板業務（日本国内）】

- ひも付き

建材向け：めっき鋼板は各種コスト上昇分の価格転嫁に努めるも、資材高騰、人手不足による工期のずれや、安価な輸入材流入の影響を受け販売数量減少。

カラー鋼板は既存顧客のシェア拡大や新規顧客の獲得などにより販売数量増加

電機向け：エアコンの需要が好調に推移するも、その他白物家電の需要は振るわず、販売数量は微増に留まる

➤ ひも付きではシェアの拡大、販売価格の維持に努めたものの減収

- 店売

非住宅関連・住宅関連ともに荷動きが鈍化する中、各エリアでの営業活動を活発化させ、販売数量は増加

➤ 日本国内全体では主に店売りにおける販売数量の増加により、増収増益

【鋼板業務(海外)】

・ 海外

SYSCO社（台湾）：既存顧客の需要の掘り起こし、新たな用途や需要の開拓など、国内外での積極的な営業活動によりめっき鋼板・カラー鋼板ともに販売数量が増加し増収増益

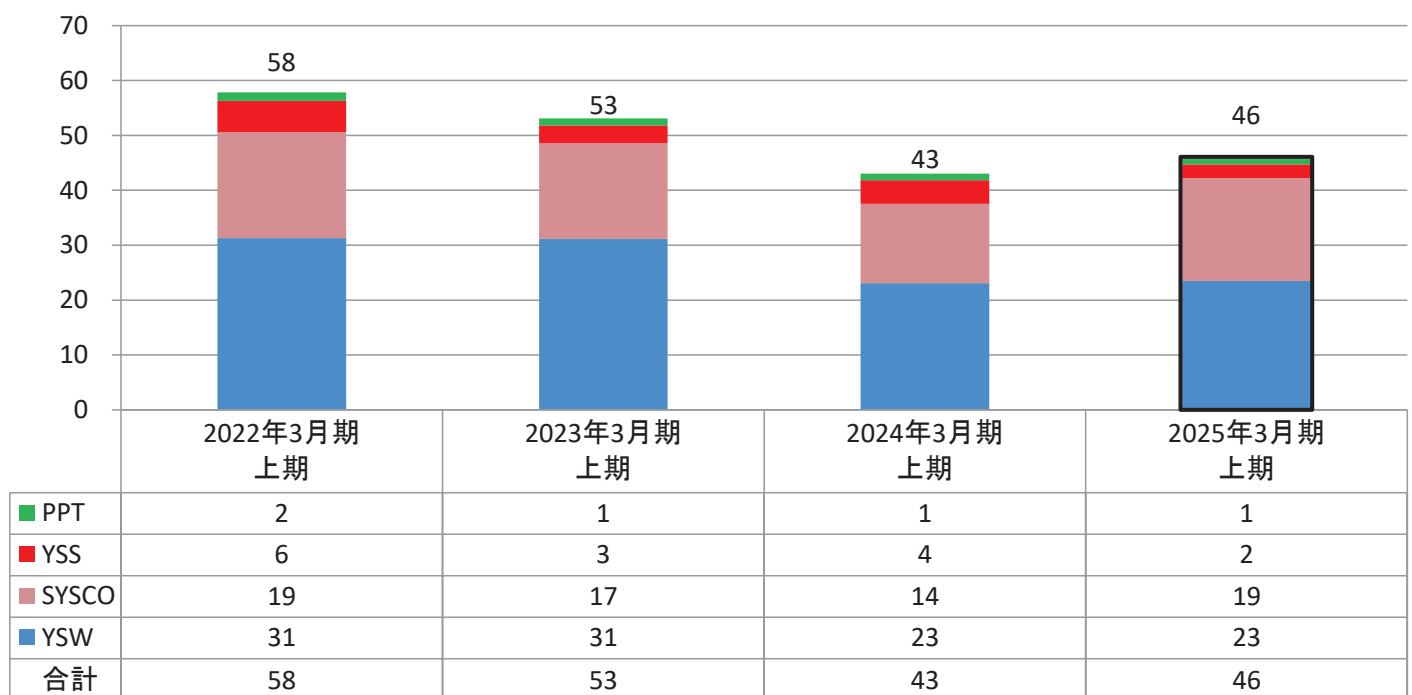
YSS社（中国）：中国国内では工事物件の中止または延期が多発。さらに、家電の需要も弱含んだことなどにより、販売数量が減少し、業績は悪化

PPT社（タイ）：鉄鋼需給ギャップによる市況価格の下落、主力のエアコン向けの需要減により減収減益

11 参考資料①

【グループ鋼板商品の一級販売数量推移】連結消去は考慮せず

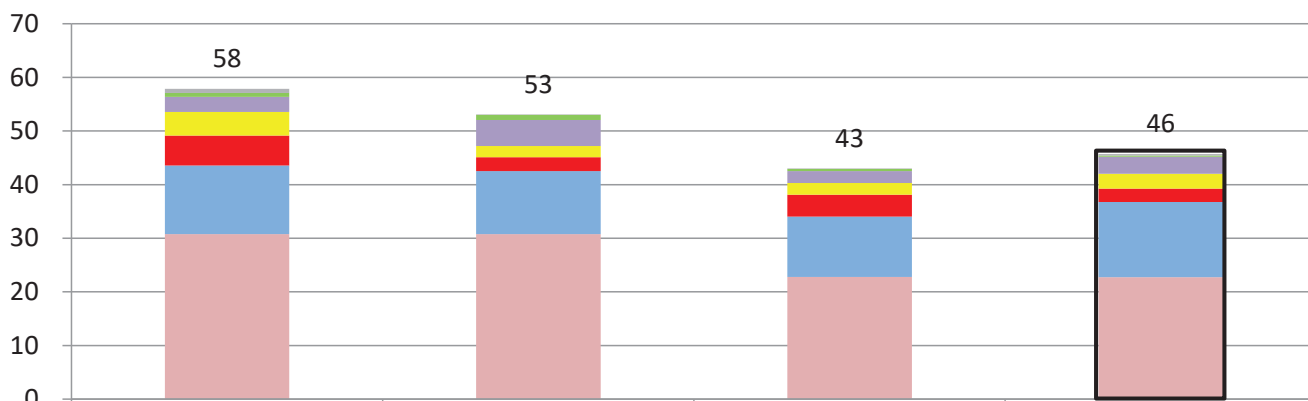
（単位：万トン）



- ・ YSW（淀鋼）は店売りの販売数量が好調に推移
- ・ SYSCO社は台湾国内向け・輸出向けともに回復基調

【グループ鋼板商品の向先別一級販売数量推移】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)



	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期
■ その他	1	0	0	0
■ オセアニア	1	1	0	0
■ 北中南米	3	5	2	3
■ その他アジア (中東除く)	4	2	2	3
■ 中国・香港	6	3	4	2
■ 台湾	13	12	11	14
■ 日本	31	31	23	23
合計	58	53	43	46

13 セグメント概況（鋼板関連事業③）

【建材業務(外装建材商品・工事)】

- ルーフは価格改定および高強度折板屋根「ヨドルーフ 157 セキュア」の提案営業による需要の掘り起こしなどにより、販売数量が前年同期比増
- 工事は大型物件が堅調に推移し、売上は前年同期比増
- 建材商品全体では増収



【ヨドルーフ 157 セキュア 施工例】

【建材業務(エクステリア商品)】

- ・ ガレージ・倉庫は販売数量微減となるも引き続き堅調に推移
- ・ 住宅着工減などの影響を受け、物置の販売数量は伸び悩む
- ・ 酷暑の影響などを受け、エクステリア商品全体では減収

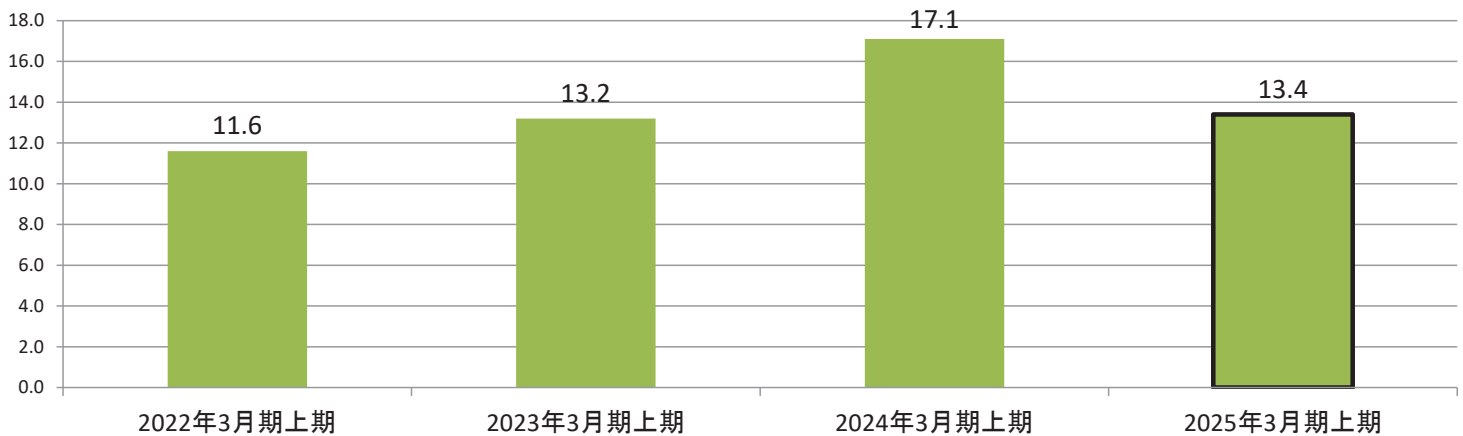


【ヨドガレージ ラヴィージュⅢ採用例】

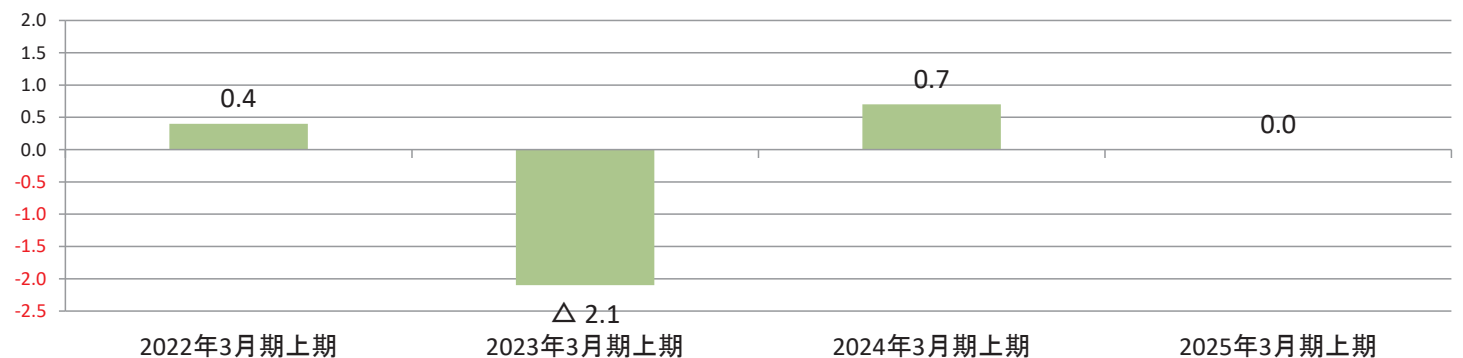
15 セグメント概況（ロール事業）

【セグメント売上高】

(単位: 億円(千万円未満切捨))



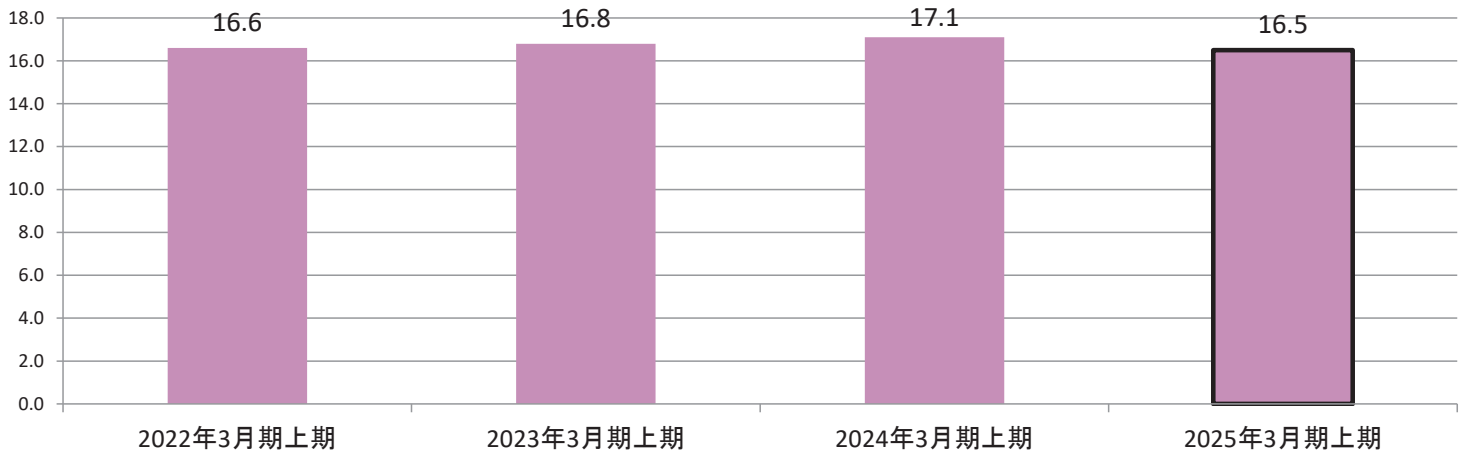
【セグメント利益】



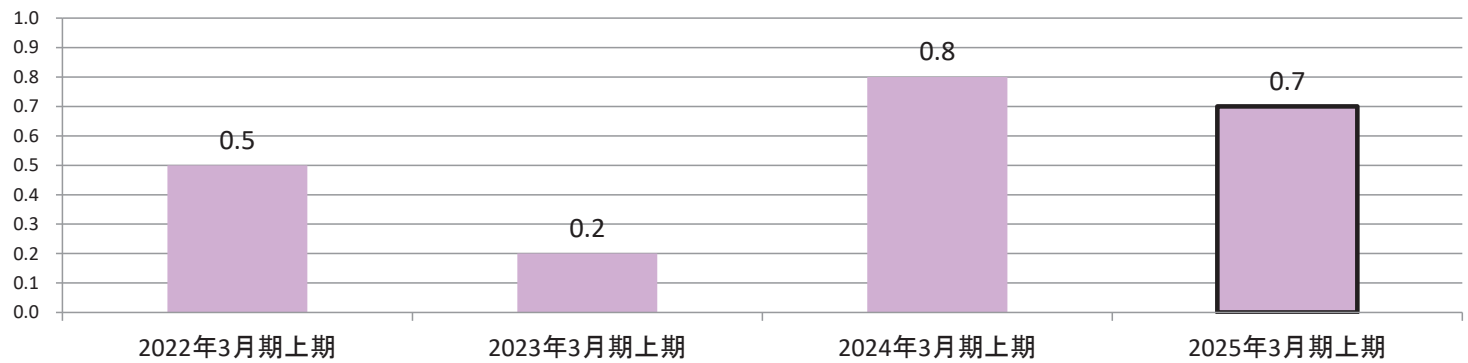
16 セグメント概況（グレーチング事業）

【セグメント売上高】

(単位: 億円(千万円未満切捨))



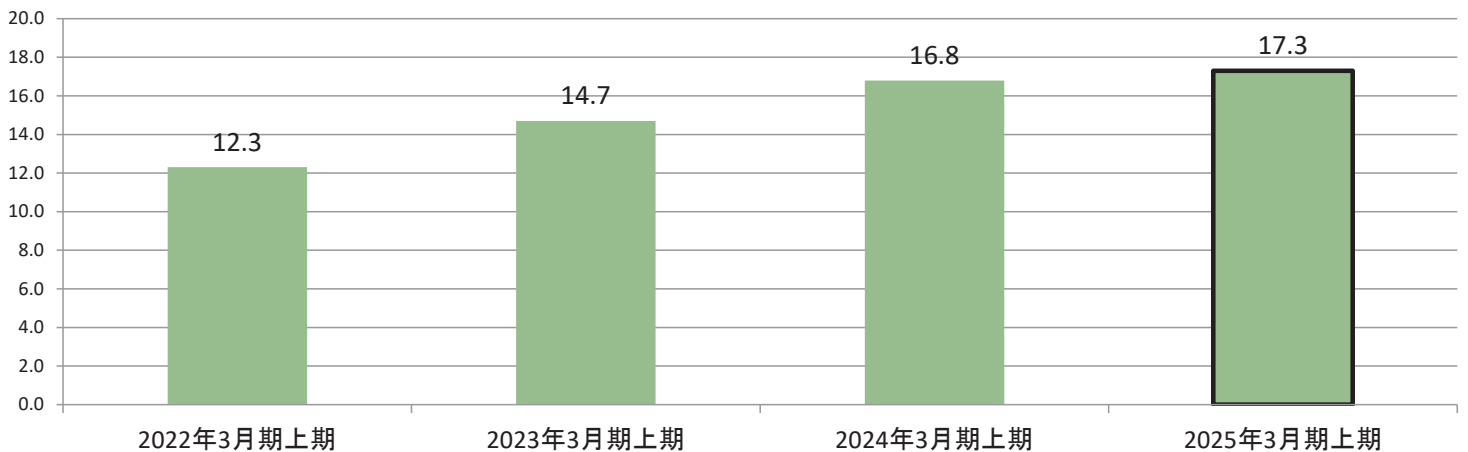
【セグメント利益】



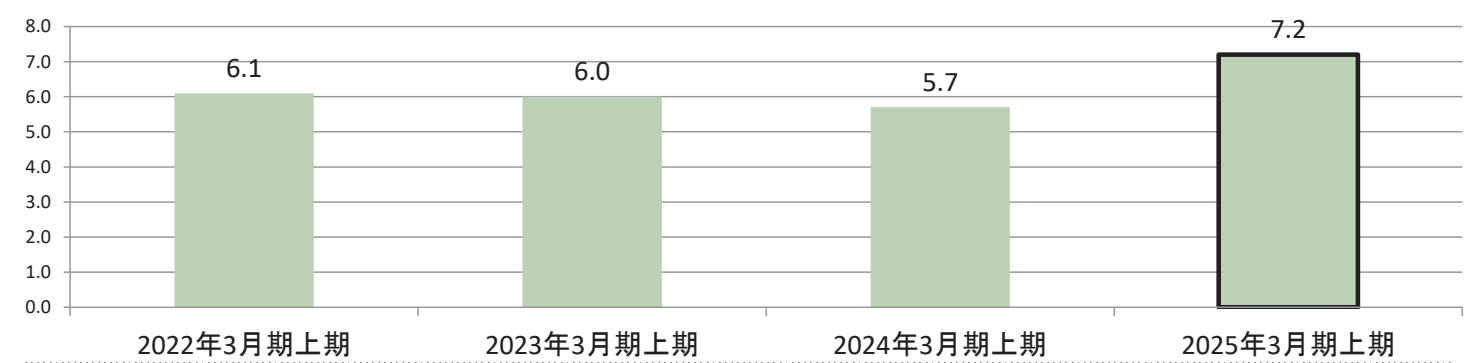
17 セグメント概況（不動産事業、その他事業）

【セグメント売上高】

(単位: 億円(千万円未満切捨))



【セグメント利益】



【ロール事業】

- ・ 主に日本国内向けの販売数量が減少し、減収減益

【グレーチング事業】

- ・ 販売価格は改善するも、販売数量が減少し、減収減益

【不動産事業ほか】

- ・ 不動産事業は売上・損益ともにほぼ前年同期並みに推移
- ・ その他事業は前年同期比で倉庫運送事業などの売上が回復

19 連結財政状態概要

(単位:億円(千万円未満切捨))

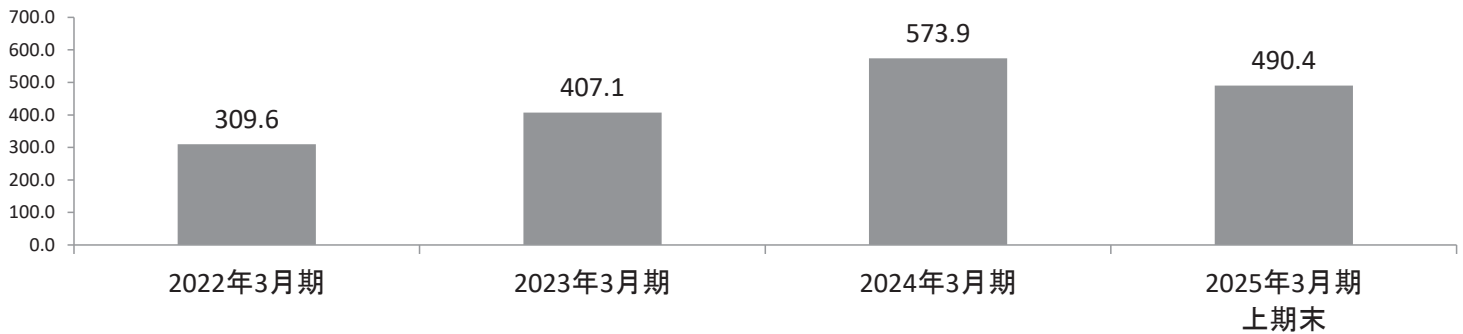
	当上期末	前期末	増減		特記事項
			増減	増減率	
総資産	2,706.4	2,658.6	47.7	1.8%	<資産> (流動)受取手形及び売掛金の増加、 原材料及び貯蔵品の増加など
(流動資産)	1,607.2	1,561.1	46.0	2.9%	
(固定資産)	1,099.2	1,097.4	1.7	0.2%	
負債	523.0	520.3	2.7	0.5%	<負債> (流動)支払手形及び買掛金の増加など
(流動負債)	298.2	281.1	17.1	6.1%	
(固定負債)	224.7	239.1	△14.3	△6.0%	
純資産	2,183.3	2,138.3	45.0	2.1%	<株主資本> 当期:親会社株主純利益57.9億、 配当△41.8億など
(株主資本)	1,582.2	1,565.5	16.6	1.1%	
(その他包括利益累計)	343.2	330.2	13.0	3.9%	
(非支配株主持分)	256.6	241.2	15.3	6.4%	<その他包括利益累計額> 有価証券評価差額金の減少 為替換算調整勘定の増加など
(BPS(円/株))	6,661.63	6,561.18	152.91		
自己資本	1,925.5	1,895.8	29.6	1.6%	
自己資本比率	71.1%	71.3%	△0.2pt		

(単位:億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	前年同期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
営業CF	0.5	76.4	△75.9	△99.3	売上債権の増加、棚卸資産の増加 など
投資CF	△48.0	1.0	△49.0	—	有形固定資産の取得による支出 など
財務CF	△52.7	△32.9	△19.7	—	当期: 配当△52.1億 など
現金及び現金同等物	490.4	466.1	24.3	5.2%	

(単位:億円)

現金及び現金同等物残高



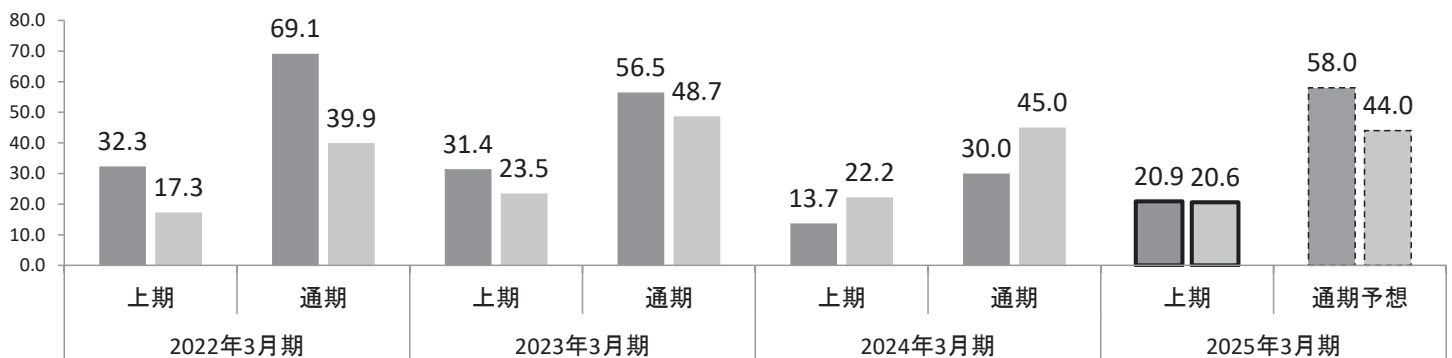
21 設備投資と減価償却

(有形固定資産のみ。建設仮勘定を含む資産計上ベース。単位:億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	前年同期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
設備投資(連結)	20.9	13.7	7.1	52.3%	大きな投資案件なし
減価償却(連結)	20.6	22.2	△1.6	△7.3%	大きな変動なし
設備投資(個別)	10.0	8.4	1.5	18.3%	大きな投資案件なし
減価償却(個別)	9.5	10.5	△0.9	△8.7%	大きな変動なし

(単位:億円)

■ 設備投資額(連結) ■ 減価償却費(連結)



(単位:億円(千万円未満切捨))

	会社	案件	完成年月 (完成予定を含む)	総投資額 (資産計上ベース)
当期実施	淀鋼	呉工場 めっきラインPMポット溝形インダクター化	2025年1月	2.5
	淀鋼	ルーフ成型機製作	2025年3月	4.8
	京葉鐵鋼 埠頭	屋外クレーン更新	2025年3月	3.7
今後予定	淀鋼	市川工場 酸洗ライン溶接機更新	2026年5月	11.2
	SYSCO社	屏南工場 太陽光発電設備	2025年6月	355百万NTD (約16)

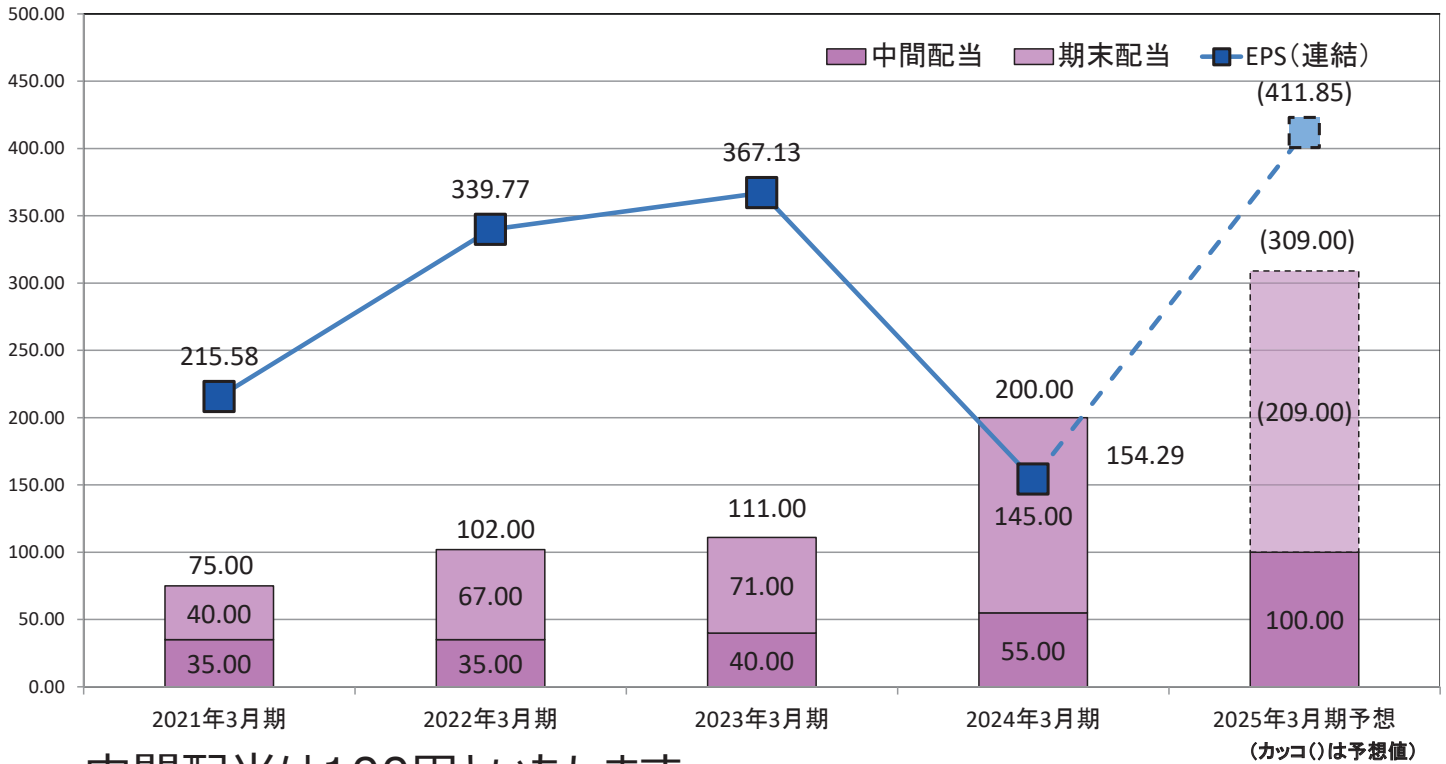
23 業績予想

(単位:億円(千万円未満切捨))

2025年3月期		通期 予想	前期比 増減率	上期 実績	前期比 増減率	(参考) 下期予想	前期比 増減率
連結	売上高	2,070.0	1.5%	1,053.2	4.0%	1,016.7	△1.0%
	営業利益	121.0	0.7%	78.1	42.8%	42.8	△34.5%
	経常利益	192.0	26.3%	91.7	19.5%	100.2	33.2%
	親会社株主利益	119.0	167.0%	57.9	11.7%	61.0	-
個別	売上高	1,280.0	△1.3%	664.1	1.8%	615.8	△4.4%
	営業利益	95.0	3.6%	61.5	36.3%	33.4	△28.1%
	経常利益	167.0	35.7%	80.4	12.6%	86.5	67.8%
	純利益	117.0	-	58.4	5.1%	58.5	-

- 通期では、主に日本国内において高止まりする鋼材市況の影響などから、需要が弱含み、販売数量が伸び悩むことを想定。

(単位：円/株)



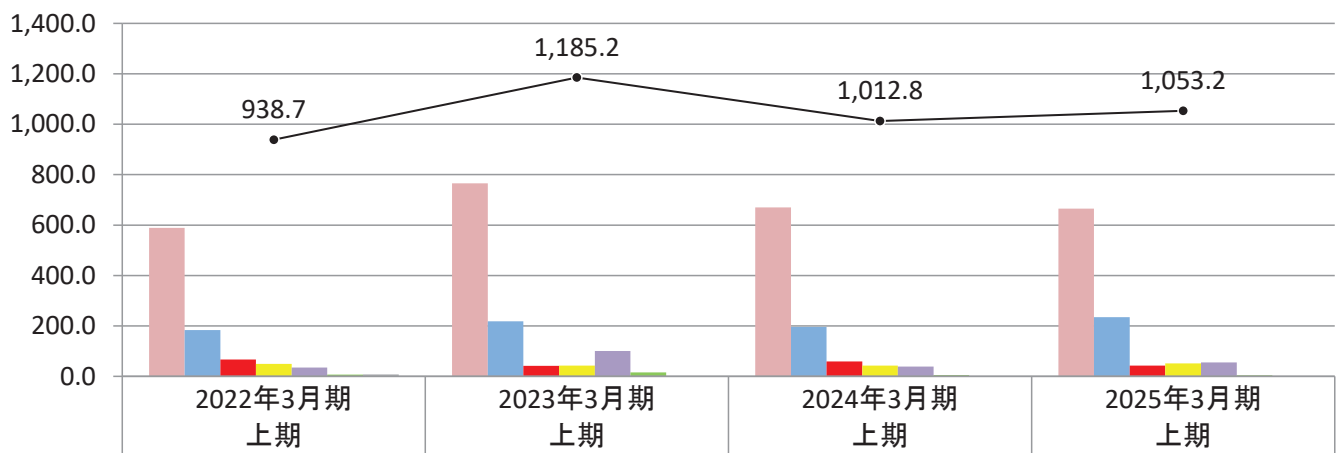
- 中間配当は100円といたします。
- 期末配当予想を209円、年間配当予想を309円といたします。



25 参考資料②

【仕向地別売上高推移】

(単位：億円(千万円未満切捨))

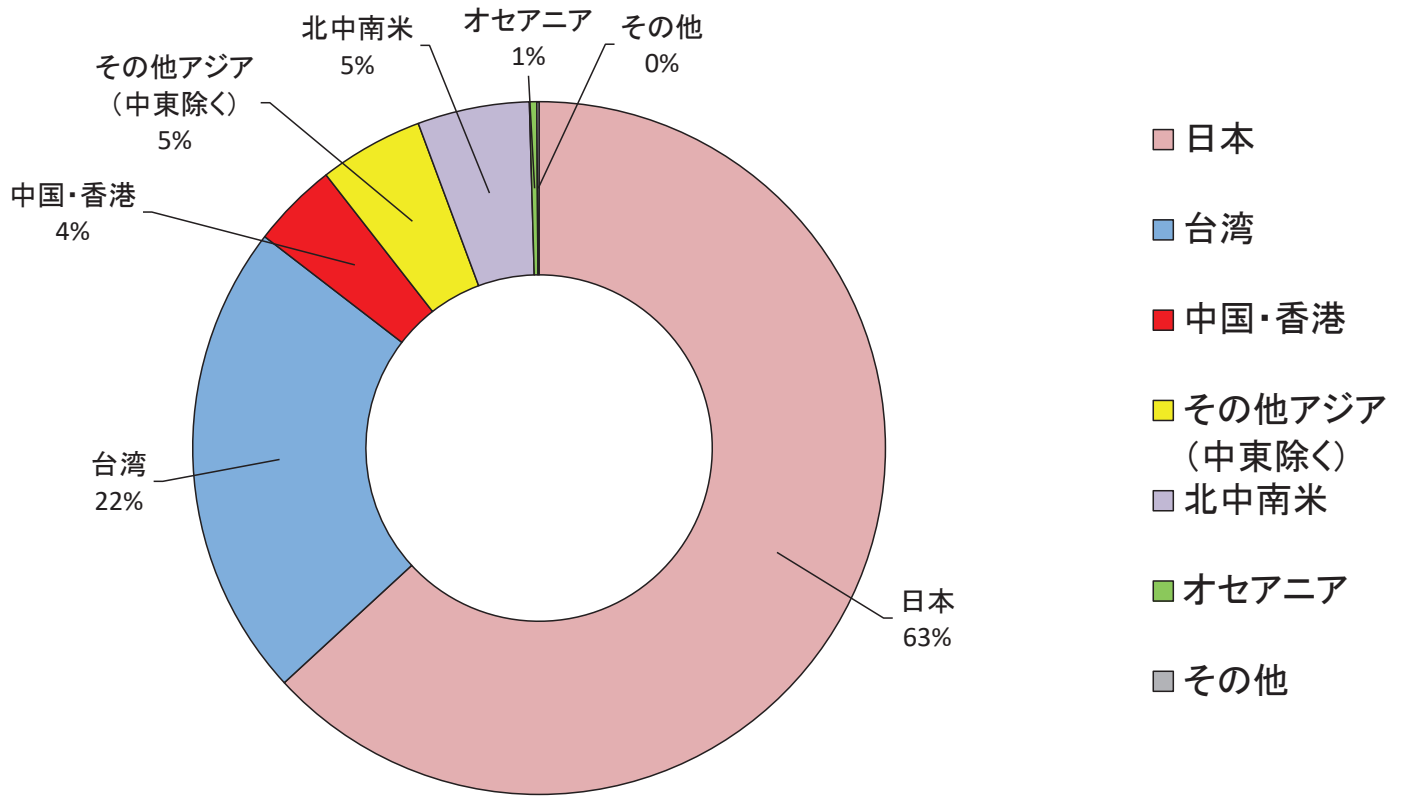


仕向地	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期
日本	589.1	765.6	669.6	664.9
台湾	183.2	218.8	196.3	234.7
中国・香港	67.1	41.3	59.1	42.2
その他アジア (中東除く)	49.3	42.3	42.2	51.3
北中南米	34.6	100.7	38.9	55.0
オセアニア	7.4	15.3	5.1	3.6
その他	7.8	0.7	1.3	1.1
合計	938.7	1,185.2	1,012.8	1,053.2



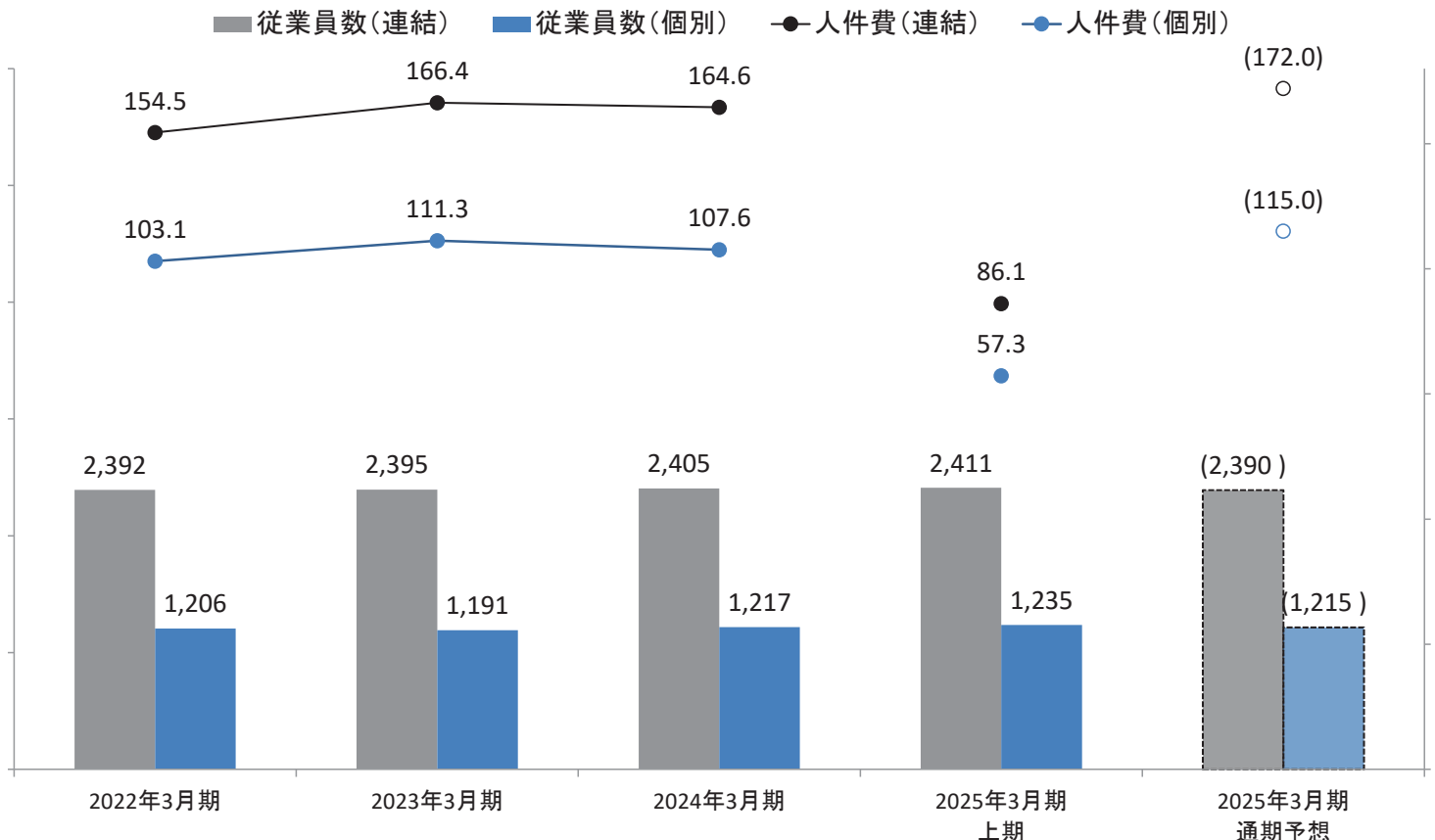
【仕向地別売上高比率(2025年3月期第2四半期)】

(単位:億円(千万円未満切捨))



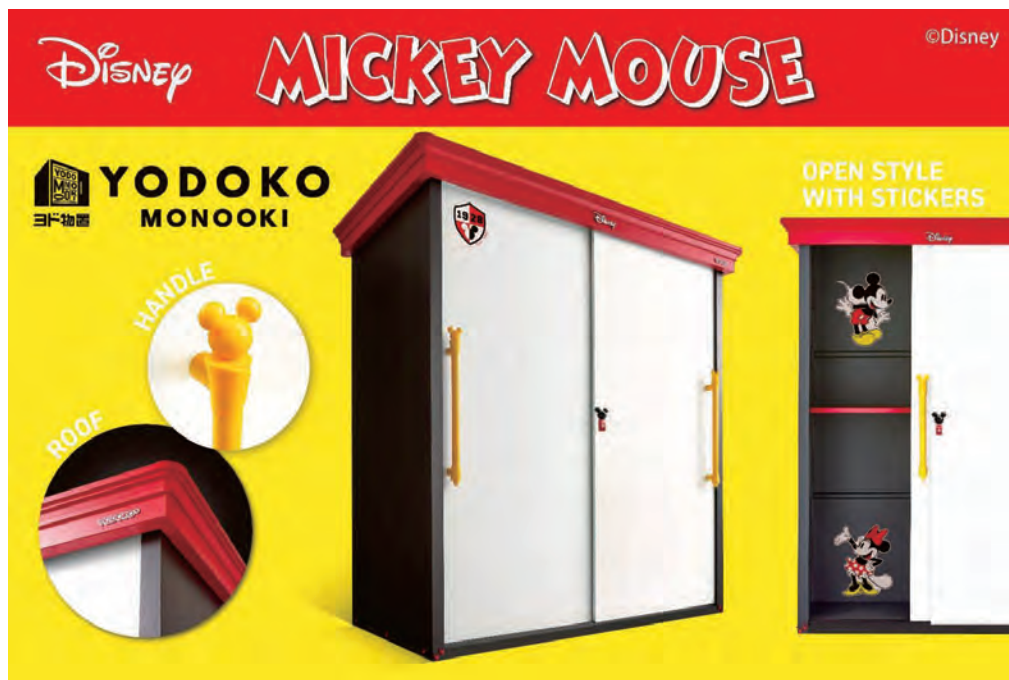
【従業員数・人件費】

(単位:人, 億円(千万円未満切捨))



「ヨド物置 <ディズニーシリーズ> ミッキーマウスモデル」発売

2024年6月 予約販売開始



世界中で大人気のミッキーマウスをテーマにしたヨド物置

「ヨド物置エルモ Colemanモデル」、「ヨドストレージボックス Colemanモデル」発売

2024年9月 予約受付開始



Colemanブランドとのコラボレーション商品の発売は、2021年発売の「LMD-2215 Coleman モデル」（限定2,000棟、完売）に続く第二弾